

令和 8 年5月21日

文教厚生常任委員会

委員長 ひさなが 信也 様

文教厚生常任委員 江原健二

文教厚生常任委員会行政視察報告書

下記の日程で行政視察を実施しましたので、別紙のとおり報告します。

記

1. 視察期日及び視察先

令和 8 年 5 月 12 日(火)

岐阜県飛騨市

「医療的ケア児家族の安心レスパイト支援について」

2. 視察参加名簿

委員長 ひさなが 信也

副委員長 江原 健二

委員 林 哲也

委員 岩藤 睦子

委員 綾城 美佳

委員 橋本 憲治

委員 尾崎 貴夫

委員 田村 継

以上 8 名

3. 視察報告・所感 別紙

(別紙)

視察先	岐阜県 飛騨市			
視察日時	令和 8 年 5 月 12 日(火) 9:30～11:50			
視察項目	医療的ケア児家族の安心レスパイト支援について			
対応部署名	飛騨市市民福祉部 次長 兼 総合福祉課長 飛騨市市民福祉部 総合福祉課 地域生活安心支援センター主任			
自治体概要	人口(令和8年4月1日)	21,065 人	面 積	792.53 ㎢
	世帯数	8,801 世帯		
	高齢化率	40.81%		
	岐阜県飛騨市は、2006 年（平成 16 年）に、古川町、河合村、宮川村、神岡町の 2 町 2 村が合併して誕生した自治体である。岐阜県の最北端に位置し、北は富山県、南は高山市、西は白川村に接しており、県庁所在地の岐阜市から約 150km、高山市の北約 15km に位置している。周囲は 3,000mを越える飛騨山脈などの山々に囲まれ、総面積 792. 53 平方キロメートルの約 93%を森林が占めている。年間を通しては、平均気温 11 度で四季の移り変わりを肌で感じることができ、とても自然に恵まれた地域である。			
視察内容				
岐阜県飛騨市では、市長が「医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク」の会長を務めていることもあり、医療的ケア児とそのご家族が地域で安心して暮らせるための全国的にも先進的なレスパイト（息抜き・一時休息）支援を行っています。 ご家族の精神的・肉体的負担を軽減し、災害時などの緊急時にもスムーズに対応できるよう、以下のような独自の 3 つの柱を中心としたサポート体制が整えられており、先進的取組の事例として高く評価できる。 ●飛騨市の「安心レスパイト支援」3 つの柱 1. 専門コーディネートチームによる円滑な調整 日頃からスムーズに医療機関へ預けられる（ショートステイ・レスパイト入院）環境を作るため、あらかじめ準備や調整をサポートする「専門コーディネートチーム」を常設しています。 - メンバー： 飛騨市、重度心身障がい在宅支援センターみらい、計画相談員、有識者など。 - メリット： 当事者家族と医療機関の間に立って事前に課題を整理・解決しておくため、保護者の休息（リフレッシュ）時だけでなく、災害時や緊急時にもスムーズな受け入れが可能になります。				

2. レスパイト入院中の一時的な「日中活動支援」

子どもを医療機関等にレスパイト入院させている間、病室にこもりきりになるのを防ぎ、子ども自身も楽しく過ごせるよう配慮されています。

- コーディネートチームが調整し、特別支援学校のOB、音楽療法士、絵本の読み聞かせボランティアなど、子どものニーズに合った支援者を病室などに派遣します。
- 活動費用は一定時間、市が負担してくれます。

3. 市独自の「タイムケア（一時預かり）利用の促進」

施設や病院への入所に頼るだけでなく、より身近な地域の人に頼れるユニークな仕組みです。

- 知人や紹介者など、ご家族が「この人なら一時的にケアを任せられる」という身近な方がいる場合、市に申し出ることによってその人を「タイムケア介護者」として認定できます。
- その介護者に対して支払った任意の謝礼（対価）について、市から補助（助成）が受けられます。

●利用・相談のステップ

安心レスパイト支援を利用するためには、事前の相談と登録・調整が必要になります。

1 相談窓口への連絡

まずは気軽にお電話から

飛騨市役所の総合福祉課（障がい福祉係）、または地域生活安心支援センター「ふらっと」（ハートピア古川内）へ連絡し、「医療的ケア児のレスパイト支援について相談したい」と伝えます。

2 丁寧なヒアリング

自宅訪問も可能

お子さんの日頃の医療的ケアの状況や、ご家族が抱えているお困りごと、どのようなレスパイト（休息、緊急時の備えなど）を希望するかを丁寧に聞き取ります。

3 専門コーディネートチームによる調整

関係機関との連携

専門チームが動き、医療機関との受け入れ態勢の調整や、タイムケアの要件確認などを進め、家族が安心して預けられる個別のプランを整えます。

4 レスパイト利用の開始

安心のサポート環境へ

調整が整うことで、事前のレスパイト入院の実施や、タイムケアなどの支援がスムーズに利用できるようになります。

所 感

医療的ケア児者支援におけるレスパイト支援への取組やその考え方には参考になる事が多く心に残っている。支援の必要なケア児やその家族に寄り添った内容が効果的に運営されるように、日ごろの業務を遂行する職員の姿勢は立派である。

医療機関との調整は、簡単に進めることは困難であるが、しっかりと話を聞き、そのうえで、それぞれの立場を理解し、必要な支援を整え、制度や施策を進めておられる点は学ぶことが多かった。限られた予算内で最大の効果を生み出しておられるようにも感じた。その中心的なリーダーは、やはり自治体のトップの考えや方針、姿勢であり、さらに、担当職員の創意工夫した取組の姿勢が重要であると強く思った。

本市においても、医療的ケア児者とそのご家族が地域で安心して暮らせるように、医療的ケア児者支援におけるレスパイト支援を行政として、今後研究し、施策としてより深められることを期待しているところである。